

9 分科会及び開催県地区発表

大会一日目

【第1分科会A】 中ホール

青森県	研究テーマ	青森県版学校事務グランドデザインの策定に向けて	発表者	司会者
研究提案概要			黒石市立中郷小学校 主事 佐々木 聡子	むつ市立大畑中学校 総括事務主幹 澤田 耕
青森県事務研では、「学びの環境を支援する学校事務」を基本理念に掲げ、平成27年度より「青森県版グランドデザイン」の策定を進めてきました。策定にあたって、青森県の学校事務職員の年齢構成、各共同実施で行っている業務等を把握することから始めました。そこで出た課題から、我々青森県学校事務職員が目指す事務職員像と、「従事する」から「つかさどる」へ変わった学校事務職員の役割の明確化のために「標準的職務一覧表」の見直しを行いました。今回の発表は、グランドデザイン策定にあたってのこれまでの取り組みと途中経過の報告及び「標準的職務一覧表」の改訂案について紹介します。			弘前市立第三中学校 主事 葛西 葉月	
秋田県	研究テーマ	「秋田こまちプラン」改訂を通して ～グランドデザイン改訂からみえてきたもの～	発表者	司会者
研究提案概要			北秋田市立鷹巣中学校 主任主査 鈴木 真樹	秋田市立東小学校 主査 八文字 隆
秋田県公立小中学校学校事務職員研究協議会では、平成27年4月に学校事務のグランドデザイン「秋田こまちプラン」を策定し、推進期間を3年と定め会員のスキルアップと意識改革を推進してきました。そして3年目となった平成29年度に、それまでの変化と今後の新たな役割に対応すべく内容の見直しを行い、今年4月に「秋田こまちプラン第2期」を策定したところです。本分科会では、これからの時代に対応していくために私たち学校事務職員はどうあるべきか、そのために何をすべきか、改訂作業を進めてきた中で明らかになった現状と課題についての考察と、職務標準表策定に関する取組について報告したいと思います。				
宮城県	研究テーマ	伊達なみやぎの学校事務職員の未来像を考えるⅢ 職務と研修と共同実施 ～事務職員が担うべき専門性と組織的な学校事務の関わりを考える～	発表者	司会者
研究提案概要			気仙沼市立階上中学校 主事 小山 彬帆	東松島市立矢本東小学校 主事 小野寺 弥生
平成20年度以降宮事研調査研究部では、「伊達なみやぎの学校事務職員の未来像を考える」とした継続的な研究を進め、第1期ではみやぎの学校事務ビジョンを追求、第2期では組織力を生かした仕事行動プランの提案をしてきた。第3期(平成29～34年度)となる今回は、「みやぎ学校事務スタンダード(MsosT)」の提案を目的とした研究過程を報告する。平成26年に導き出した「宮事研ビジョン」を礎に、これからの学校事務を担う若き世代の意見と共にみやぎの学校事務の変革を追求していく。			白石市立大平小学校 主事 曳田 聖亜	

【第1分科会B】 小ホール

福島県	研究テーマ	課題解決のための最初の一步 「アクションプラン会員実行シート」を活用して	発表者	司会者
研究提案概要			いわき市立小名浜第二小学校 主査 郡司 俊行	二本松市立安達太良小学校 主査 宮前 忍
福島県公立小中学校学校事務研究会では、新しい時代の学校事務職員像を創造し、学校経営に欠かせない基幹的職員としての位置づけを明確にするための活動指針として、「福島県事務研ビジョン」を策定している。その実行にあたり、学校事務職員が抱えている課題と課題解決策を「課題と解決策の相関表(アクションプラン)」にまとめた。この「課題と解決策の相関表」の中で「会員」の部分に着目し、作成したものが「アクションプラン会員実行シート」である。この分科会では、「アクションプラン会員実行シート」を利用した個人の研修の推進と、地区事務研究会からの報告を基にした学校事務職員として目指す姿の実現に向けた研究について報告する。			福島市立大森小学校 主査 斎藤 洋子	
山形県	研究テーマ	—「未来を拓こう！子どもの育ちを支援する学校事務」— ～連携・協働でつくる次世代の学校～	発表者	司会者
研究提案概要			東根市立長瀬小学校 事務主査 宮腰 雅子	南陽市立宮内中学校 事務主査 伊藤 智美
これまで山形県の事務職員は、研究ビジョン「やまがた花笠プラン」に基づいた研究と実践を行ってきました。世代交代の大きな波が押し寄せる今、「事務をつかさどる」職として事務職員への期待が一層高まっています。そのような中、次世代の事務職員が目指す指針となる「やまがた花笠プラン」を意識した各地区・個人の研究の取り組み、「山形の子どもの学びと育ちを支援する事務職員の職務(案)」の作成、そして、山形らしい共同学校事務室を提案するため「共同実施検討プロジェクト」を立ち上げ「共同学校事務室実施要綱(案)」と「業務要綱(案)」を作成し、提示したこと等の活動を行っています。これらの取り組みを報告し、皆様からご意見を伺いたいと思います。			山形市立第十小学校 主査 荒木 有美子	
			中山町立豊田小学校 主事 佐藤 佳楠子	
岩手県	研究テーマ	いわてのグランドデザイン～みんなでできる実行策～2018チャレンジ ～県事務研研究計画を考える～	発表者	
研究提案概要			岩手県公立小中学校学校事務職員研究協議会研究部 研究推進委員会	
平成24年度に提起した岩手県内の学校事務職員向け「いわてのグランドデザイン～みんなでできる実行策～」は、めざす学校事務職員像(ありたい姿)にむかって形から入る学校事務、「まずはやってみよう」でした。私たちの土台となる基本的業務を遂行することについては、研修を積み重ねることで力量が築き上げられていきますが、学校教育目標の具現化に向けて主体的に学校事務をマネジメントしていくことで、学校経営に参画していくことができます。そのことが「みんなでできる実行策」の研修体制の裏付けであり、県内各支部での取組が成果を上げています。平成29年4月の学校教育法の改正を受け、事務職員の職務が「従事する」から「つかさどる」となり、私たちを取り巻く状況はさらに変化しています。その上で、岩手県事務研として研究をこれからどう進めるのかが現在直面する課題です。状況の変化に伴い研究に対する意識や形態が変わらなければいけないのはもちろんですが、まずは私たち自身の意識改革が必要であり、それを組織としていかに発信していくかが重要だと感じています。学校の事務を「つかさどる」職員として覚悟をもって進んでいくために、みんなでできる実行策～2018チャレンジ～として取り組んでいきます。				

【第2分科会】大ホール

岩手県	研究テーマ	その先へ ～“つかさどる”にせまるために～	発表者
研究提案概要			洋野町立中野中学校
<p>ジョブローテーションにより県立高校から小中学校へ、新採用のような気持ちで赴任してきました。赴任して早々に、学校教育法の改正により事務職員の職務が「事務をつかさどる」と改正されました。私たちを含め経験の浅い事務職員は、慣れない業務で締め切りに追われる中で、「事務をつかさどることはできるのか」という不安と、「何かをかえていかなければならない」という焦りを感じているのではないのでしょうか。今回の私たちの取り組みは、異職種経験を活かして自分なりに一歩前へ踏み出してみたものです。分科会に参加している皆さんと内容を共有することで、その不安と焦りから少しでも先へ進めるきっかけとなればと考えています。</p>			主事 菊地 宏樹 盛岡市立城北小学校 主事 佐々木 瑠衣
宮城県	研究テーマ	未来ある児童生徒のため、教育を支える学校事務職員を目指して	発表者
研究提案概要			柴田町立柴田小学校
<p>事務職員として日々の仕事を通じて、学校現場において児童生徒のために何を求められ、どのような役割を担わなければならないかを考えています。事務職員相互のネットワーク、スキル、事務研、共同実施で見えてきたことや身に付いたノウハウを活用して、児童生徒のために取り組んだこと、あるいは事務職員ができる可能性について私見を発表するものです。</p>			主事 佐々木 俊輔
青森県	研究テーマ	教育自立圏と魅力ある学校づくり	発表者
研究提案概要			弘前市立高杉小学校
<p>弘前市では、子どものため学校や地域が連携・協働しながら主体的に関わっていく圏域を「教育自立圏」と定め、今年度より様々な取り組みをはじめます。この「教育自立圏」は、小中一貫教育と地域と学校の協働活動のふたつを柱にしており、小中一貫教育では市内共通の郷土学習カリキュラム（ひろさき学）の導入や、運動をテーマに弘前式健康教育コアカリキュラムの実施をしています。地域と学校の協働活動では、コミュニティスクールを設置し「開かれた学校」からさらに進展した「地域とともにある学校」への転換を図っています。このような取り組みの様子や事務として関わってきたことを紹介します。また、魅力ある学校とはどのような学校なのか、前述の取り組みを活かして自分なりに学校づくりができないか、事務職員として何ができるのか考えてみました。</p>			主事 田中 智理
福島県	研究テーマ	学校間連携の推進とミドルエイジに求められる＋α － 共同・連携実施と地区事務研活動を通した“おせっかい”のススメ －	発表者
研究提案概要			石川町立沢田小学校
<p>採用後12年目の時に、西白河郡西郷村の小中学校へ異動になりました。東西しらかわ地区は学校数が少なく、事務研ではこれまで以上に関わりが増えることとなりました。その中で、成果というものは先輩方の努力の結晶だということを思い知らされ、少しでも自分がそこに寄与できないかと意識が変革していきました。5年間に在籍した東西しらかわ地区事務研究会や、西郷村での取り組みを通して得られた成果から、学校間連携、中堅職員、「おせっかい」の重要性についてお話しします。</p>			主査 鈴木 邦彦
秋田県	研究テーマ	共同実施による事務職員の变化について	発表者
研究提案概要			湯沢市立皆瀬中学校
<p>秋田県湯沢市では、平成27年度に湯沢市小中学校事務共同実施組織が発足し、共同実施がスタートしました。3年を経過した現在までに、共同実施による事務職員としての意識の変化や、経験したこと、実践事例等を報告します。</p>			主任 栗田 真二
山形県	研究テーマ	子どもたちに語る パッション！ — 伝える、伝わる、拡がる —	発表者
研究提案概要			小国町立小国小学校
<p>小さな「気づき」を形にするために必要なこと…それは、心のウォーミングアップ！ 6年社会科「税の学習」でのゲストティーチャーとしての関わり、そして、学校環境緑化モデル事業を推進した取り組み。 この2つの実践から、想いを語り、伝わる「喜び」そして「嬉しい拡がり」をお話しします。</p>			事務主査 仁科 佳代子

大会二日目

【宮城県地区発表】大ホール

宮城県 石巻地区	研究テーマ	学校事務職員としての災害への備え ～東日本大震災を経験して～	発表者	司会者
研究提案概要			石巻市立桃生中学校	石巻市立住吉中学校
<p>東日本大震災で大きな被害を受けた石巻地区から、いつどこで起こるか分からない災害に、学校事務職員として日頃からどのような備えをしていけばよいのかを考える機会を発信します。</p>			主事 青山 大祐 石巻市立北上中学校 主事 日野 侑哉 東松島市立矢本第一中学校 主事 梁田 侑希	事務長 杉山 留美子
宮城県 大河原地区	研究テーマ	共同実施の未来へ向けて ～みちのくの仲間たちとともにこれからの共同実施を考えよう～	助言者	発表者
研究提案概要			大河原教育事務所 次長(総括担当) 高橋 純一	大河原教育事務所管内小中学校 事務職員会研修部第5班
<p>大河原教育事務所管内の事務の共同実施について過去の歴史を踏まえ、平成27～29年度に各市町で行っている内容とメリット・デメリットを紹介します。また、「チームとしての学校」で提言されている学校のあり方と事務の共同実施について、私たちが解釈している内容を紹介します。東北各県の事務職員が一同に集まる機会なので、各県の共同実施に関わる内容について意見交換を行い、多方面に想像を膨らませ、各々が今後の共同実施と学校経営について改めて考えていきます。</p>				司会者
				角田市立角田中学校 主査 高野 智寛